

和
2023

(発行者)ジメジメした蒸し暑い天気が続いています。体調管理に留意しましょう。

2023. 7.5(水)



『第一回進路説明会』後に寄せられたご質問にお答えします。



6/13(火)に「保護者様対象：進路説明会」、そして翌14日(水)と16日(金)には「生徒対象説明会」を実施いたしました。現時点でお知らせできる進路情報を、できるだけわかり易くお伝えするよう努力しましたが、不十分な点も多々あったと思います。そして16日(金)には「第1回到達度試験返却」と共に『第2回進路希望調査』を実施いたしました。今回は、進路説明会後に承ったご質問(第2回進路希望調査記載も含めて)にお答えします。併せて、例年この時期によく質問される内容も掲載いたします。参考になれば幸いです。

Q1. 『公立高校評価項目の配点』の中にあつた「調査書中の記載事項」とは具体的にどのような内容が記載されるのですか？

A. 大別すると下記の4点です。

- ①学級活動……級長や教科係など学級内の係(原則3年次の内容)
- ②生徒会活動……生徒会や委員会(原則3年次の内容)
- ③学校行事……修学旅行や体育祭などの学校行事における係(原則3年次の内容)
- ④部活動……中学入学時からの部活動実績。大会成績は表彰の対象となったものは全て記載が原則。
- ⑤特記事項……上記以外の中学校時代の実績(資格取得、段級取得、表彰の対象となったものなど。学校外での活動に関しては申告制(証明書等の提出)で記載することが可能です。

※(1)原則3年次とは…調査書の『その他の記載事項』は、中学3年生次の実績を記入することが原則ですが、1・2年次の実績でも、顕著なもの(全校レベルの役員、県大会出場レベルの部活動実績など)は記載します。

※(2)④と⑤に関しては、スペースに収まり切れない場合もできます。その場合は、3学年次優先、大会規模の大きいもの優先等の観点で調整(削除)していきます。

Q2. 『英検』や『漢検』等の資格は、いつまでに取得すれば調査書に記載してもらえますか？

A. 調査書は、12月初旬を目安に完成させますので、11月末までに取得していただくのが望ましいです。

しかし、出願前であれば、『追記載』もできますので、『必ずこの日までに取得しないと記載されない』という期限はありません。ただし、私立入試の場合は、多くの高校で12月15日から入試相談が実施されますので、年明け、1月以降に取得した資格は入試相談には反映されないことになります。

Q3. 調査書に記載される資格は『英検』『漢検』『数検』ぐらいですか？『文章検定』や『歴史能力検定』など、様々な検定があるようですが。

A. ご要望があれば、どんな検定でも記載することを原則としています。ただし、学校外の活動で取得したもののについては、『検定合格証(コピーでよい)』等、証明できる書類を提出していただくことになります。このようなご要望については、2学期中ごろに『調査書記載内容確認書』という形でお配りいたしますのでその際にご記入⇒ご提出いただくことになります。

Q4. 『学校説明会』や『見学会』に参加することで『加点』されることはありますか。

A. 公立高校の場合…加点はありません。説明会参加の有無が入試結果に反映されることはありません。

私立高校の場合…基本的には、合否を左右することとは関係ないと考えてよいですが、一部私立高校では、説明会に参加することを受験の条件しているケースがあります。

Q5. 『学校説明会』や『見学会』には何校ぐらい参加すればよいでしょうか？

A. これまでの経験から『最低でも公立1校、私立1校』は行くことをお勧めします。しかし、多くの高校で、時間のとり易い夏休みを中心に開催されるということから、現在候補に挙がっている高校は全て訪問するぐらいでもよいと思います。個人的にお勧めするのは『合同説明会1回』と『高校個別の説明会複数校』の両方参加です。理由は『合同説明会』では複数の高校の話が聞ける、資料がもらえる、そして個別の説明会では学校の雰囲気を感じることができるからです。ちなみに今年度の『合同説明会』は8/5(土)、6(日)に幕張メッセで行われる説明会が一番規模が大きいのではないかと思います。

Q6. 調査書中に「皆勤」という言葉がなくなつたと聞きましたが本当ですか？

A. はい、本当です。2年前までは欠席日数が0の場合、欠席の理由欄に『皆勤』と『/』の2種類の記載がありました。『皆勤』とは、欠席だけでなく遅刻も早退もない場合。『/』は、欠席はないけれど遅刻や早退はある場合です。しかし昨年度からは『皆勤』という文言がなくなり、『/』に統一されました。

Q7. 公立高校：普通科にも様々な「コース」が設定されていることがわかりましたが、必ず希望どおりのコースに進めるのですか？

A. 結論は、『必ずしも希望どおりになるとは限らない。』です。2年生からコース分けがされますが、各コースの定員は高校によって様々です。定員を超える希望者があった場合は、第2希望～になることもある。その場合は1年次の成績が重要視されると、高校の先生がおっしゃっていました。

Q8. 到達度テストで何点取れば「県立船橋」「県立佐倉」の安全圏に入れますか。

A. この質問に関しては本来個別にお答えするものですが、隠すことでもないので今回は記事にします。今年度の『第1回到達度試験:5/13実施』の場合は『県立船橋=431点以上』『佐倉=404点以上』を合格圏内と考えています。但し、あくまで今回のテストにおける目安です。その時のテストの難易度によって変わりますし、時期（受験までの日数）によっても変わります。あくまでも今回の結果から見ると...程度にお考えください。尚、今後このようなご質問に対しては『個別回答』とさせていただきます。

Q9. 私立東葉高校の「S特進クラス」「特進クラス」「進学クラス」の違いは何ですか？

A. 目指す進路の違い、カリキュラム（時間割や選択科目など）が異なるようです。
S特進クラス・・・国公立・早慶上理など最難関私立大学を目指す、週6日制のクラス。
特進クラス・・・GMARCHなど難関私立大学を目指す、週6日制のクラス。
進学クラス・・・日東駒専など有名私立大学を目指す、週5日制のクラス。
今回は『学校案内=冊子』より抜粋して掲載しましたが、高校ホームページを検索すれば、より詳しい情報を、「誰でも」「いつでも」見ることができますよ。

Q10. 志望校を決める上で「何校受験するのが良い?」「決定の時期は?」等が知りたい。

A. この質問に関しては「人それぞれ」ですが、基本的な考え方を申し上げます。まず「何校受験?」に関しては、第1希望&第2希望の2校受験が一般的（一番多い）です。最も多いのが「公立第一希望+私立併願で1校」のパターンです。次に「公立第一希望+併願私立を複数受験」でしょう。私立を第1希望にする場合も「第1希望私立+併願私立」や「第1希望私立→第2希望で公立出願」のパターンもありますが、やはり「2校受験」が最も多いです。次に「受験校決定の時期」は入試の1か月前までには決めたいですね。いつまでも目標が定まらなると集中しにくいという面もあるようです。具体的には「私立=入試相談があることも含め、11月末には」、公立は「1月初旬」には決めたいところです。

栃木県立高等学校における全国からの志願者の募集について

～ 栃木県教育委員会からの情報（連絡）です。～



1. 栃木県教育委員会では、下記の学校・学科において全国から生徒を募集しています。

	学校	学科	志願要件
①	栃木県立日光明峰高等学校	普通科	アイスホッケー・スピードスケート競技での活躍を目指す者
②	栃木県立馬頭高等学校	水産科	特にありません。

2. 各学校の詳細については、各高校のホームページをご覧ください。また、入学者選抜の手続き等に関しては、【栃木県教育委員会事務局高校教育課 028-623-3382】までお問合せください。

宮城県公立高等学校：全国募集について

～ 宮城県教育委員会からの情報（連絡）です。～



1. 宮城県では、全国から志高い高校生を募集します！

	全国募集実施校	学科 及び 募集人数
①	宮城県南三陸高等学校	普通科(8人程度)、情報ビジネス科(4人程度)
②	宮城県中新田高等学校	普通科(5人程度)

2. 出願資格（宮城県公立高等学校入学者選抜要項で別に定める出願資格に加え、以下の(1)～(3)を全て満たす者）

- (1) 上記の高等学校が所在する各市町村(以下、関係市町村という)及び地域での学びに関心があり、志願先の高等学校への志願理由が明確であること。
- (2) 志願者及び保護者が宮城県外に居住していること。
- (3) 志願者が志願先の高等学校への入学期日までに、宮城県内に居住する予定であること。

3. その他

- (1) 各学校の詳細については、各学校のホームページ及び「みらい留学」のホームページをご覧ください。
- (2) 宮城県の全国募集に関する手続き・詳細等については、宮城県教育庁高校教育課のWebサイトをご覧ください。